

僕の中の日本

ゴレ ユバラジ
GOLE YUBARAJ

私が3年間の日本での留学生活を通して、日本の文化の中で感動したこと、疑問に思ったこと、驚いたこと、そして私が気付いた文化の違いについて、意見を述べさせていただきます。あくまでも私の意見です。

私にとって日本とは世界で最も平和を維持できている国であり、ネパールに比べたら天国のような環境です。爽やかな街に綺麗な景色、日本は世界で最も住みやすい国だと思います。教育に関しても、子供の頃から専門的な知識を覚えさせるだけでなく、公共的なマナーやルールを当たり前で守れる、優しい人々を育てるシステムにも憧れを抱いています。例えば、日本人が外国人と話す際、日本語での会話が可能かどうかを確認するところはとてもマナーが良いと思います。

生活に関しては、物価は高いけれど同時にアルバイトの給料も高かったので不自由はありませんでした。感動したのは、アルバイト終わりのお疲れ様ですという、共に働く相手をねぎらう挨拶でした。私は、アルバイトで日本人一人ひとりが、自分の母国のために頑張っている姿勢を見て、私の母国を含む他の国も日本を真似するべきだと思います。

また、日本製の車や機械が世界中で人気の理由も、日本に来て、よく理解できました。それは、自分に定められた仕事をしっかりと最後まで全うする日本人をたくさん見てきたからです。仕事を素早く正確に行う点が、日本の発展の秘訣ではないかと感じました。

私にとって日本は、平和で安全で発展的なとても魅力的な社会で、住み続けたいと思える国です。しかし日本は、外国人労働者や長期間滞在しよ

うとする外国人にとっては、期待から離れていく国かもしれません。

日本には外国人への見えない差別がたくさん存在しています。

外国人は日本で部屋を借りるだけでかなり労力が必要です。対応によっては不快感を覚える事もありました。公的機関の英語対応力が極めて不足していることも事実かと思います。来日してしばらくの間、コミュニケーションで手こずる外国人も多くいます。

また、日本の企業には外国人にとって快適に働けない要素が沢山あると聞きます。保証会社費用など外国人にのみ発生する費用、もはや日本では常識になった残業文化、年功序列制度などです。個人に合わせた柔軟な制度をもつ企業はとて少なく、諦めて母国に帰ってしまう外国人がいてとてももったいないと思います。

私のような外国人にとって、日本に長期間住む上で最も重要なことはやはり日本語能力だと思います。それは日本での生活の幸福度につながっているからです。英語しか話さない場合、生活はなんとかなりますが、日本の挨拶の素晴らしさや、文化の面白さを感じる程度は低くなってしまいます。

私は、日本で学んだ全てのことを母国にて活用したいと思っています。日本人の仕事に対する真面目な態度や挨拶などは素晴らしいと思います。中でも呑みコミュニケーションは、他の国にはない文化なのでとても面白いと思いました。母国に帰っても日本の素晴らしい文化を忘れずに、ネパールと日本の架け橋として頑張っていきたいと考えています。